

「西神ニュータウン6地区防災福祉コミュニティ合同防災訓練」報告

日時 2024年11月17日(日)、09:00~12:00
場所 梶台小学校の体育館ほか
参加者 美賀多台防コミから10名
鈴木、藪田、藤林、外山、赤松、柴田光一、柴田、衣川、松本、都留
その他6地区および消防署員を含めると総勢約200名

訓練内容

兵庫知事選挙投票日と重なりましたが、体育館と渡り廊下を使って開催されました。6項目の訓練:-

① ガレキ下からの救出→②煙体験→③消火栓直接活用法→④毛布担架搬送→⑤AED→⑥水消火器

の6項目に加えて「キーマカレー」の炊き出し訓練は、うれしいランチでした。

美賀多台防コミは「ガレキ下からの救出」指導を担当しました。鉄製バール・盤木・オイルジャッキ・パンタグラフジャッキを使っての救出訓練でした。消防署スタッフからの助言・支援もいただきました。要救助者を引き出すためのスペースをジャッキと盤木を使って確保する過程で、左右2台のジャッキを4人が呼吸を合わせて持ち上げる重要性を認識できました。



災害時には、自動車のタイヤ交換用のパンタグラフジャッキなど手じかにあるものを活用しての救助作業になるが地盤の傾き・強度にも注意が必要だと学びました。参加者から、長時間体幹部を挟まれた要救助者のカリウム蓄積に関する質問がありましたが、医療従事者の措置が必要との事でした。



西消防署長から講評があり、阪神淡路大震災以降は神戸市には発生していないが日本国内では激甚災害が繰り返し発生しており、6防コミ合同防災訓練を繰り返すことで備えてほしいと。最後に、来年度の当番である狩場台防コミ代表から予告がありました。

以上